

各 位

会 社 名 小松ウオール工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 加納 慎也
(コード：7949、東証プライム市場)
問 合 せ 先 社長室長 高野 裕輝
(TEL. 0761-21-3234)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、取締役会の機能をより一層向上させることを目的として、2024 年度の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

2025 年 3 月開催の取締役会において、前回の実効性評価により抽出された課題についての取り組み状況について振り返りを行うとともに、2024 年度の実効性評価の実施方法、設問内容などについて審議を行いました。その結果、設問への評価を 5 段階で行う方式とすること、定性的な情報をより取得できるよう自由記載の設問を増やすこと、紙によるアンケートから WEB 形式に変更して実施することを決定しました。

取締役 9 名（うち社外取締役 4 名）に対し、無記名方式のアンケート（WEB 形式）を実施し、全員からの回答を得ました。事務局にてアンケートの回答結果の集計及び分析を行い、2025 年 4 月開催の取締役会において集計・分析結果について報告を行い、2025 年 5 月開催の取締役会において今後の取り組みの方向性について議論を行いました。これまでの議論等を踏まえ、2025 年 6 月開催の取締役会において今後の取り組み計画を決定いたしました。

【評価項目】

アンケートでは、各項目への評価だけでなく、評価理由や改善を検討すべき点などの自由記載欄を設け、具体的な意見を吸い上げられるようにしております。

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営
- (3) 取締役会の議題
- (4) 取締役会を支える体制
- (5) コーポレートガバナンス・コード関連
- (6) その他

2. 前年度の実効性評価結果を踏まえた 2024 年度の取り組み

2023 年度の実効性評価の結果を踏まえた 2024 年度の取り組み状況は以下のとおりです。

2023 年度の主な課題	2024 年度の取り組み
資本コストや資本収益性及び長期的な成長戦略に関する議論の充実	資本コストや資本収益性に関する報告及び議論を 2024 年度は 5 回実施いたしました。その結果、2025 年 4 月 28 日付で「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」を開示するに至りました。

3. 2024 年度の実効性評価結果の概要

当社取締役会はその職務・責務に照らし、概ね適正に機能しており、取締役会の実効性は概ね確保されていると評価いたしました。

4. 実効性の更なる向上に向けた取り組み

取締役会の更なる実効性の向上に向け、定量的な評価結果と定性的なコメントを総合的に考慮し、今後の取り組みを以下のとおり設定いたしました。

2024 年度の主な課題	2025 年度の取り組み計画
社外取締役が事業内容を理解する機会の提供	定期的に執行役員からの業務報告会を実施し、一定の評価を得ております。報告内容の充実または現地視察などの機会創出を検討します。
取締役会の付議基準の見直し	中長期的な成長戦略の議論に集中できるようにするため、付議基準等の見直しを実施します。
中長期的な成長戦略に関する議論の継続	戦略検討チームからの定期的な報告を受け、進捗状況を監督するとともに議論を実施します。
コンプライアンス、不正等の情報の早期共有	コンプライアンス・リスク管理委員会の実効性向上を図り、委員会での議論の深化を図るとともに審議内容を取締役に適時に共有します。
指名・報酬に係る議論の充実	指名・報酬委員会の実効性向上を図り、委員会での議論の深化を図るとともに審議内容を取締役に共有。役員報酬制度の改定案を審議します。

今後も取締役会での議論を更に充実させ、取締役会の実効性の確保に一層努め、コーポレートガバナンスの充実と企業価値の持続的な向上を目指してまいります。

以 上